

小出裕章さんが再び語る

# 東電福島原発「事件」後を生きる

～再稼働・原発輸出攻撃にどう向き合うか～

開催日時

2014年7月5日(土)

開場 12時

講演 13時～17時

開催場所

同志社大学今出川校地・明德館21番教室(M21)



## 第一部 基調講演

京都大学原子炉実験所助教

### 小出 裕章 氏

## 第二部 パネル討論

- 同志社大学大学院社会学研究科博士課程教授 (京都地裁で地位確認係争中)・浅野 健一 氏
- 社会学部メディア学科・学生代表

東電福島第一原発「事件」の加害責任が曖昧にされ、事件は収束不能な中、御用学者・メディアなどで作る“原発マフィア”が復活し、自公政権は原発再稼働・輸出を企む。一方、福井地裁は5月21日大飯原発の運転差し止めを認めた。「原発のない世界」を作り出すために市民とメディアは今、何をなすべきかを考える。

浅野健一ゼミが12年7月29日小出さんの講演会を開いてから2年。野田政権が「収束宣言」を出し、安倍首相は五輪誘致のため原発が「アンダーコントロール」にあるとデマを発信、「事故を経験したからこそ世界一安全」と原発セールスに躍起となっている。原発被害を取り上げたマンガが攻撃され、各地の公民館などが「反原発」を政治思想と見なし会場を貸さないという動きもある。

シンポの第一部では、40年間「反原発」を一貫して闘い抜いた小出さんが、「原発事件の現在」を語り、第二部では「記者クラブ解体」を唱える浅野さん、学生代表を交えて「原発とメディア」を討論する。

### 小出 裕章 (こいで・ひろあき) 氏



1949年東京生まれ。東北大学工学部原子核工学科卒、同大学院修了。1974年より京都大学原子炉実験所助手(現:助教)を務める。原子力を学ぶ中でその危険性を知り、1970年女川原発反対集会への参加以後、原子力研究の立場から原子力に反対し続けてきた。震災以降も全国で精力的に講演を行い、またMBSラジオ「たね蒔きジャーナル」に11年3月14日から12年9月28日まで出演。

主な著書に『原発のウソ』(扶桑社新書)、『隠される原子力・核の真実—原子力の専門家が原発に反対するわけ』(創史社)、『騙されたあなたにも責任がある 脱原発の真実』(幻冬舎)など著書多数。

### 浅野 健一 (あさの・けんいち) 氏



1948年、香川県高松市生まれ。1972年、慶應義塾大学経済学部卒業。72年共同通信に入社、社会部記者、ジャカルタ支局長、外信部デスクなど歴任。94年から同志社大学教授。主な著書に『記者クラブ解体新書』(現代人文社)、『裁判員と「犯罪報道の犯罪」』(昭和堂)、『抗う勇氣』(チョムスキーとの対談、現代人文社)など著書多数。

### 同志社大学 今出川校地

《所在地》京都市上京区今出川通り烏丸東入

地下鉄烏丸線

「今出川」駅から徒歩1分

京阪電車

「出町柳」駅から徒歩15分

バス停

「烏丸今出川」から徒歩1分



事前申込み

優先制

《参加予約申込み先》

dodai.koike7.5@gmail.com

※上記アドレスへ参加人数・名前を明記し送信ください。

主催：小出裕章さん講演実行委員会